

初学者のための結核寺子屋教室（エキスパートセミナー）の開催について

日本結核病学会は、結核および非結核性抗酸菌症（以下、抗酸菌症）に対する適切な医療を推進するため、抗酸菌症のチーム医療構成メンバーである看護師・保健師等の専門的知識と技術の向上をめざしております。本学会は抗酸菌症の撲滅と息者のQOL・ADL改善に資することを目的として教育研修に努めるべく、平成22年から結核・抗酸菌症認定医・指導医制度を開始し、平成25年には日本結核病学会抗酸菌症エキスパート制度を設け、現在、登録抗酸菌症エキスパート（非会員対象）と認定抗酸菌症エキスパート（日本結核病学会会員）を認定しています。

このような背景のなか、今後は多くの研修医、メディカルスタッフが、本学会総会に参加することが見込まれます。一方で本学会は専門性が高い学会であり、会期中の各セッションも専門医向けの内容が多く、ご参加いただいた研修医、メディカルスタッフを対象としたセッションが必要と考え、昨年の第91回日本結核病学会総会では研修医・エキスパート向け抗酸菌症集中セミナーを企画いたしました。その後、エキスパートセミナーをエキスパートの申請と更新の要件となる講習会とすることが認められました。エキスパートの認定には、エキスパートセミナーか日本結核病学会生涯教育セミナーに参加していることが必要です。

第92回日本結核病学会総会では1日目と2日目の午前と午後に4セッションが企画され、各セッションに単位5点が配点されます。事務手続きの都合上、2日目の午後は7演題のうち前半の4題に配点されます。4セッション組まれていますが、今回の総会の出席で得られる単位は15点までですのでご注意ください。

今回の総会でのエキスパートセミナーでは抗酸菌症の病態、診断、発病、感染制御、治療、看護などに関する優れた講演が企画されていて、最新の抗酸菌症の基礎知識を得ることができると思います。

第92回日本結核病学会総会

会長 齋藤 武文

(国立病院機構茨城東病院 胸部疾患・療育医療センター 院長)

日本結核病学会認定制度委員長 大崎 能伸

(旭川医科大学病院呼吸器センター)